



大村市長  
松本 崇

## 新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。皆さまには清々しい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より市政に対し温かいご支援・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

現在の大村市を取り巻く環境は、一昨年から世界的不況や円高など厳しい経済環境に加え、国の政策転換などで著しく変化しております。しかしながら、どのような状況下にあっても市民の安全・安心を確保し、豊かさが実感できる市民サービスを提供してまいります。

そのため、市では行政改革を着実に断行し安定した都市経営を行ってまいります。まず、子ども達を安心して育てることができ、高齢者が安心して暮らせるまちづくり、市民が生き生きと働くことができる環境づくり、そして将来に明るい展望が見い出せるようなまちづくりを進めてまいります。

具体的には、競艇事業の収益金の一定額を

財源とする「子ども夢基金」を創設し、子育て・教育などに有効な活用を図ってまいります。

また、中心市街地の活性化を推進するため「上駅通り地区第一種市街地再開発事業」への支援や、雇用確保の観点から新しい工業団地の造成・企業の誘致の実現を目指します。

本市は交通拠点都市として、2018年の新幹線西九州ルートの開業へ向けた整備も着々と進められております。新幹線を活かしたまちづくりについて、市民の皆さんの声をお伺いしながら推進してまいります。

今年、8月に県下では初めてとなる、ロンドンオリンピックの予選を兼ねた第24回FIBAアジア女子バスケットボール選手権大会、10月に第62回日本学校農業クラブ全国大会長崎大会、そして11月にはSG第14回競艇王チャレンジカップ競走など、大型のコンベンション事業が予定されております。

これからも「市民が主役」「対話の市政」を基本に、「日本でもっとも住みたくなるまち」「福祉のまち 日本一」を目指して全力を尽くしてまいります。本年も変わらぬご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまにとりまして輝かしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

平成23年元旦

大村市長 松本 崇

## 新年を迎えて



大村市議会議長  
廣瀬 政和

新年明けましておめでとうございます。皆さま方には清々しく新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、旧年中は市議会に対しまして温かいご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

さて、一年を振り返りますと、国内では、世界的な経済不況を克服するため、国・地方をあげて緊急経済対策に取り組んでまいりました。

一方、大村市においては、九州新幹線西九州ルートの地元説明会の実施や国道34号拡幅事業の与崎交差点までが早期完成に向け整備中であるなど住みよいまちづくりに向けた事業が着実に進んでまいりました。

これからは、地方自治体においても自己責任・自己決定による自主自立が一層求め

られてまいります。

市議会といたしましたとしても、議会基本条例の理念に基づき、今後も議会の活性化に取り組むとともに、市民の皆さまの声を的確に市政に反映させることが、私ども市議会の最大の責務であると考えております。

多難な財政状況と、依然として厳しい生活環境ではありますが、市民の皆さまの更なるご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。また、この一年が皆さまにとつて輝かしいものでありますよう祈念いたしまして、新年のあいさつといたします。

平成23年元旦

大村市議会議長 廣瀬 政和